



ぴゅあ

毛野南小学校
人権教育だより
平成28年12月1日

豊かな人権感覚を育むために

私たちは、一人一人が「かけがえのない存在」です。誰もが平和に生きていたいと願っています。そのことを互いに認識して日常生活での行動に反映できるように、一人一人が豊かな人権感覚を身に付け、自分を大切にできる心、他の人を思いやる心を育んでいくことが大切です。

○生命の尊さを知る

一人一人の命はかけがえのないものです。人は人を支え、人に支えられて生きています。命の大切さを知り、生きていることの大切さをかみしめることが、人権を考える上での第一歩です。

○自尊感情を育てる

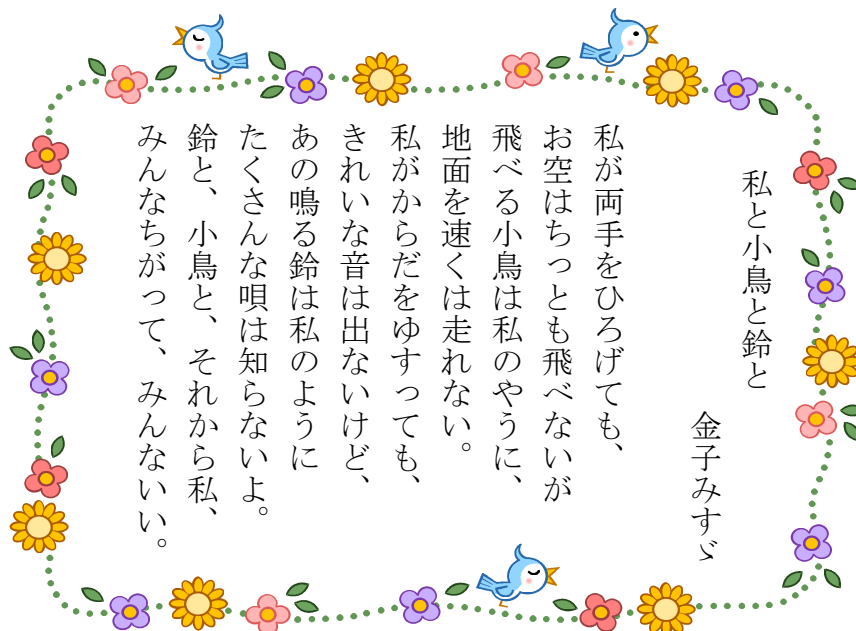
自分のことを大切に思える人は、他の人のことも大切にできるものです。まず、自分と向き合しましょう。ありのままの自分を、自分らしさを、肯定的に受け止めましょう。

○違いを認め合う

人はみなそれぞれに「違い」があります。その「違い」は、「個性」という、人が支え合って豊かに生きていくための大切な宝です。違いがあってもあたりまえ。違いがあるからこそ価値があるのです。違いを認め合うことが、互いの人権を守ることにつながるのです。

○気付く

知らず知らずのうちに他の人を傷つけてしまうことがあります。根拠のない固定観念にとらわれた行動により、不快な思いをさせてしまうこともあるでしょう。日常生活における様々な事柄に対して、「気付き」の視点を常にもつことが大切です。



人権作文へのご感想ありがとうございました

「夏の人権週間」では、2年生以上の児童全員が人権作文を書きました。それを保護者の方に読んでいただき、ご感想や励ましの言葉等を書いていただきました。一人一人の子供たちが、前向きに生きようとする力となるようなコメントをたくさんいただき、感謝いたします。ありがとうございました。

その中から全文ではありませんが、抜粋して紹介いたします。



○友達に優しくしてもらえて「ありがとう」という感謝する気持ちをもてたから、次は私も友だちや困っている人に優しくしてあげたいと思えたのですね。とても大切な気持ちに気付くことができ、よかったです。そして、その気持ちをいつまでももち続けてほしいです。
(2年保護者)

○今まで、友達のことを悪く言ったことはありませんね。みんないい友達だからなのでしょうね。作文の最後に「友だちを大切にしていきたいと思いました。」と書かれていました。その気持ちを忘れずにいれば、周りにはいい友達がたくさん集まってくると思います。これからも、たくさんの友達をつくらしてほしいです。
(3年保護者)

○「ありがとう」と感謝されると、心が温かくなります。だれかに対しての優しい気持ちが、自分にも返ってくるなんて、とてもすてきなことです。それを発見できたことは、とてもすばらしいことだと思います。そして、楽しく「親切大作戦」を続けていることを知り、私の心もぼかぼかになりました。私も「親切大作戦」をして心をぼかぼかにしようと思います。
(4年保護者)

○友達に関しての悩みは、たくさんあります。でも、その悩みは、一人ではできません。友達がいるから悩むことができるのです。10人いれば、10人考え方が違います。考えながら迷いながら、本当の友達に出会えるのだと思います。どうか、たくさんの友達がいる自分に自信をもってください。私はいつでもそばにいて、見守っています。
(5年保護者)

○戦争を知らない人の方が多くなった現代なので、戦争の真実を知り、考えていくことはとても大切だと思います。日本は今、平和ですが、世界中ではまだまだ戦争をしている国があり、犠牲になってしまう人がいるのは残念です。自分ができる小さなことから始めることが大事なのだと思います。
(6年保護者)



本校では、11月28日から12月7日までを「冬の人権旬間」と位置付け、人権について考える機会を設けています。人権標語作りをはじめ、道徳授業公開、学級全員で遊ぶ「トリムの時間」、縦割りのなかよし班で遊ぶ「なかよしサークル」など様々な活動を通して学んでいます。

ご家庭でも、本日の授業や身近な人権について話し合っただけけると幸いです。